



ソウル駐在員通信

vol.14

クレアソウル事務所 所長補佐 飯村恵理子

안녕하세요(アンニョンハセヨ)! クレアソウル事務所の飯村です。

ソウルはすっかり秋らしくなってきました。過ごしやすい季節を迎え、様々なイベントが各地で開催されています。

今回は、9月11~14日に釜山広域市において行われた「釜山国際観光展」と、9月20日にソウル特別市内で行われた「日韓交流おまつり」の2大イベントについてご報告します。

■釜山国際観光展での茨城県 PR

釜山広域市は、朝鮮半島の東南に位置しており、人口約350万人のソウル市に次ぐ大都市で、日本に最も近い都市ともいえます。

釜山国際観光展は、「BEXCO」というコンベンションセンターで行われます。私は昨年に引き続き2度目のブース対応となりました。

※昨年度の様子はこちらから(クレアメールマガジン)

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201411_2/1.pdf

釜山国際観光展は、2014年開催時には世界44カ国244社・機関による430ブースが出展、観覧客は10万人にのぼりました。韓国における国際観光展の中でも注目度の高い本展です。クレアソウルにおいてもブースを出展し、日本全国の自治体のPRを行いました。

ブースでは、写真のように全国からいただいた韓国語パンフレットを陳列し、TVモニターで観光PR映像を流しています。来場した方は、思い思いにパンフレットを手にとって眺めます。「温泉で有名な地域はどこか」「この地域では何がおいしいか」等といった質問が職員に投げかけられることもしばしばです。

茨城県に関しては、知名度としては東京、九州、関西地域には押されてしまいます。しかし、もう何度も日本旅行に行っていて、東京や大阪など主要都市ではなく、もっと地方に行ってみたいというリピーターの声が多いのも特徴です。

そのような来場者の声を聞くと、すかさず茨城県のパンフレットを持ちだし、県内にあられる観光の魅力をPRします。特に、韓国の方は写真をたくさん撮るので、風景が絵になるひたち海浜公園のネモフィラの丘や、偕楽園の梅林、袋田の滝などを積極的にお伝えしました。



■日韓交流おまつり 2015 in Seoul

日韓交流おまつりは、2005年にスタートし、昨年度でちょうど10回目を迎えたイベントです。11回目となる今年は、日韓国交正常化 50 周年の記念の年でもあることから、日韓交流のシンボルでもある朝鮮通信使の行列再現やご当地グルメの出展など、例年に増して盛りだくさんの内容となりました。

クレアソウルでもブース出展を行い、釜山と同様にパンフレットや映像によるPRを行いました。

日韓交流おまつりは、日本と韓国それぞれの文化を紹介し、お互いの理解を深めるイベントであり、比較的若い観覧客が多いのが特徴です。クレアブースでは、より多くの若者にブースを訪れてもらい、日本の魅力に触れてもらおうと、日本全国のご当地キャラクターと一緒に「認証ショット」(特定の場所や物と一緒に写真を撮り、SNS等を通して友達に知らせることができる)が撮れるスペースを設けました。

韓国でも、いわゆる「キャラクター」ものは老若男女問わず人気があり、今回用意した認証ショットスペースにもたくさんの来場者が集まっていました。集まってくれた来場者には、ブース内にあるパンフレット等を案内し、大都市以外にもたくさんある日本の地域の魅力をPRしました。



また、今回、2015年9月に発生した台風18号による豪雨被害を受け、急ぎ募金活動を行いました。

クレアブースにおいてチラシを配布しながら募金を呼びかけた結果、1日で約70万ウォン(約7万円)もの募金が集まりました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました!

集めた募金は、日本赤十字社を通じて各被災地へ配分されます。



■来場者アンケートを通じた日本旅行に関する意識調査

今回の釜山国際観光展及び日韓交流おまつりの両会場において、来場者を対象に日本旅行に関するアンケート調査を行いました。

ソウルと釜山という異なる都市において、日本に対する観光の意識はどのように違うのか分析します。結果は、クリアソウルのホームページ等でお知らせする予定ですので、楽しみに！

クリアソウルホームページ：<http://www.clair.or.kr/>